ここがポイント！ そこが聞きたい!!

一般質問とは、市の行政事務の状況や将来の方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、定例会ごとに行われます。**今定例会では新型コロナウイルスへの対応により、一般質問のうち希望質問は全て取り下げ（12名）、4会派の代表質問のみ行いました。**主なものの要旨を掲載いたします。本文中の「見出し」及び「問」は、質問者自身が責任をもって作成したものです。

減災への取り組みについて

市議団未来代表　**粳田　平一郎**

問　**昨年の台風19号の対応について伺います。非常食や衛生管理の反省はいかがか。また同様な避難の必要があった場合、市は市民の皆様に指定避難所へどう避難してもらいたいのか伺います。**

次に、一級河川女堀川の越水により、床下、床上の被害が蛭川地区に発生しました。女堀川の応急処置について、至急本庄県土事務所に対策を要望すべきと思いますが、市の対応を伺います。

答　非常食の確保と衛生管理については、今回の台風19号を貴重な教訓として、実施した対応を検証し、資機材や非常食等の備蓄もより実践的なものになるよう努めていきます。また、災害時に本市からの避難情報があった場合は、ご自身の安全を確保し、動きやすい服装で、できるだけ地域の皆様で助け合いながら、指定避難所へ避難することが第一です。避難情報がない場合も、身の危険を感じる際は自主避難を始めていただくことも重要です。

女堀川の早期の河川改修はこれまでも要望してきましたが、台風による被害を受け、改めて埼玉県に対し、女堀川の早急な河川改修と次の台風シーズンに向けた応急措置の実施を要望しました。県では堤防のかさ上げ工事を出水期前に完了できるように努めたいとのことで、市もこの応急措置が一日でも早く完成するように要望するとともに、地域の皆様との調整など早期の整備に向けて可能な限りの協力をしたいと考えています。

【その他の質問】
・子どもの居場所づくりについて
・農業を取り巻く環境整備について

台風19号後の蛭川地区の様子

本庁舎南側駐車場について

自由民主党本庄クラブ代表　**小林　猛**

問　**本庁舎南側駐車場には公用車がいつも10台から多い時には15、16台駐車をしております。少しの時間であれば良いのですが、長時間の駐車がほとんどです。身体に障害のある方等が庁舎を訪れた時に南側駐車場を使用していただけるように、公用車は市の別の駐車場に駐車していただきたいと思います。障害のある方や市民の皆様に対して、優しい心配りだと思いますが、いかがでしょうか。**

答　公用車の駐車場は、所定の場所を確保していますが、現在、庁舎東側用地の工事を行っている関係で、一部の車両は、庁舎南側駐車場に臨時的に駐車している状況です。また、出先機関からの職員が用務により駐車していることもあります。

現在、大きな会議等が重なった場合などでは、市役所へ来庁された方の駐車スペースが確保されにくい状況になることもあります。こうした場合には職員が駐車場で誘導等を行うなどの対応をし、来庁者の皆様にご協力をいただいているところです。

このような状況も踏まえ、現在、令和2年度中の利用開始を目指し、庁舎東側に駐車場を拡張するための工事を行っています。敷地面積は約2300㎡で、駐車台数は約80台を予定しています。このうち一部を公用車の駐車スペースとし、また、大きな会議が重なった場合の一般の方々の駐車場として活用し、駐車場混雑の緩和につなげていきますので、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

【その他の質問】
・塙保己一翁について
・施設利用者に対する市の対応について

本庄市役所（本庁舎）

会議録の一般公開

詳しい内容は、会議録（5月下旬発行予定）を議会事務局、児玉総合支所、はにぽんプラザ、図書館、公民館及び市議会ホームページで閲覧できます。

★会議録閲覧・検索のアドレス
https://ssp.kaigiroku.net/tenant/honjo/pg/index.html

一般質問の録画配信

一般質問の録画中継は市議会ホームページでご覧いただけます。

★本庄市議会　一般質問の録画配信のアドレス
https://smart.discussvision.net/smart/tenant/honjo/WebView/

生ごみの堆肥化について

市議団　大地代表　**高橋　和美**

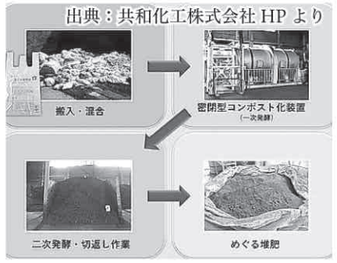
問　**本市は埼玉県下でも一人当たりのごみ排出量が非常に多く、特に生ごみは可燃ごみの4割近くを占めており、資源化することが望まれます。栃木県益子町は、生分解性プラスチックの袋で生ごみを収集し、密閉型コンポストに入れ発酵させることで、短期間で良質な堆肥が完成するという環境に優しい方法です。本市としては、生ごみ収集をどのように考えていますか。**

答　市では生ごみの減量化の必要性を認識し、令和元年度から新たな取り組みとして、第2弾の新たな水切り袋を官民共同で開発しました。また、生ごみの堆肥化のためにダンボールコンポストの講習会を実施しました。環境にやさしく、各家庭で生ごみを処理するため、ごみの減量化が期待でき、今後も継続したいと考えています。

益子町のような堆肥化を本市が実施する場合は、益子町同様、民間施設による業務委託となります。処理能力により民間施設が処理できない場合、新たな施設建設が必要となり、ごみ行政を実施する児玉郡市広域市町村圏組合で構成市町が歩調を合わせて慎重に協議する必要があります。

ごみの減量化は市民の皆様の協力がなければ達成が難しい問題です。特に生ごみの減量化は食品ロスの削減を意識していただきたいと思います。市としても食品ロス削減の意識啓発とともに、生ごみ水切り運動やダンボールコンポストの普及に向けた積極的な啓発活動を継続的に実施し、ごみの減量化を進めていきます。

【その他の質問】
・自転車を活用したまちづくりについて



益子町の生ごみが堆肥化される過程

子育て支援について

公明党代表　**清水　静子**

問　**「母子保健法の一部を改正する法律」が成立、来年4月に施行される。「産後ケア」が法律に明記され、努力義務に位置づけられた。本市にも産後ケアが必要と考えるがどうか。次に、幼児教育・保育の無償化が始まり、3歳から5歳までの保育料が無償化となった。0歳から2歳までの課税世帯の保育料の中で、兄弟の保育園同時入所要件を外し、2人目の保育料を半額にできないか。**

答　本市では、子育て世代包括支援事業として、妊娠期から子育て期において切れ目のない支援を行っています。妊娠期や産後は精神的に不安定な状況になりやすく、安心した子育てのための支援をすることが重要と考えています。産後ケア事業を含め、切れ目のない支援を行うために、どのような支援が求められているか、どのような体制を整える必要があるかなど調査研究を重ねていきます。

保育料は、保育所の運営に要する費用の一部を保護者の所得状況に応じ、国が定めた基準額を上限として各自治体が定めています。本市の保育料は、県内63市町村の中でも最高額で6番目に低く、また所得に応じた細かい階層に設定し負担軽減を図っています。さらには少子化対策、定住化促進対策の一環として、独自に保育料の第3子無償化を行い、昨年10月からは第3子の副食費を無償化するなど、すでに一定の負担軽減を図っています。

所得に応じた保育料の負担を原則として、子育てしやすいまちづくり、保育環境の整備に努めていきます。

【その他の質問】
・本庄市の公共交通について